

学園の現場から

丸亀市立城北小学校

校長 鎌谷 敦之

体育館のあちらこちらにシートを広げ、ペアの城北幼稚園のそら組さんと一緒に座り、ペアのお友だちに聞いてもらおうと準備した絵本を読み進めていく1年生。読み終わって「どうだった？」と尋ねると、「おもしろかった。」というそら組さんの返事に、思わずにつきりする1年生。続く、言葉集めでは、ペアごとに、一人ひとりの名前を一字ずつにしたカードを組み合わせて、隠れている言葉を



お兄ちゃん、わかったよ！

探していく。「こうしたら、えんちがう？」「こんなのないなあ。」「あった！」そんな声が続く。

これは、去る10月31日に本校で行われた「丸亀市幼小・保連絡研究協議会」での幼小交流の一場面です。本校では、城北幼稚園を始め平山保育所・土居保育所と連携をとって、小

幼児と児童の交流活動

学校に年長さんを迎え、12月に給食体験や4年生との交流会、2月に小学校探検や1年生との交流会なども行っています。この保幼小の交流は、4月に新入生がスムーズに小学校生活を始めることを目指しての活動を指している。ものですが、同時に、本校の子どもたちにとっても、年少の友だちへのかかわりについて学んだり、当時の自分を振り返り自分の成長を実感したりする場にもなっています。これからの様々な交流を通して、子どもたちの温かい心を育てようと思えます。

城北小を全面改築へ

27年末完成 4階建て校舎、エレベーターも

城北小学校が全面改築されることになりました。市教育委員会の説明によると、老朽化と耐震を理由としたもので、平成25年9月着工、27年12月完成予定です。

工事は二つに分けられ、まず、現在の運動場に校舎と体育館を建設します。2施設の完成は27年2月の予定。児童が新しい校舎に移った後、今の校舎を取り壊し、その跡地に運動場とプールが整備されます。

新校舎は鉄筋4階建て延べ約5900平方メートル。一般教室のほか特別支援教室、図書室、理科室、音楽室、家庭科教室、コンピュータ室などを備えます。現校舎よりコンパクトなものになります。多目的スペースを多く取り入れた設計となっています。体育館は鉄筋2階建て延べ約2300平方メートル。2階のフロアは現在の体育館の約2倍となります。1階は青

い鳥教室、駐車場などに充てられます。校舎、体育館とも1台ずつ



新しい城北小学校の完成予想図

境に配慮、最新のバリアフリーを取り入れます。学習施設については教師の意見を参考にしました」と話しています。完成後は、城北地区活性化の拠点として活用が望まれます。また、大災害時の支援施設としての十分な機能を備えることも地域住民は期待しています。

あしがき

今年5月10日「明倫の里・城北」は満15歳の誕生日を迎えます。その名称のもとになった「明倫」は孟子から、京極家五代藩主高中公が寛政10年（1798年）に設立した藩校正明館の理念として選びみずから筆をとった扁額の言葉です。藩校は明治期に数度の変遷をへて城北小学校になり、扁額もまた同校に伝えられました。

コミュニケーション元年の新年を迎え、「明倫」を地域のバックボーンとして、あらためて見直したいと考えています。（松村）

◆「記念日歳時記」は休み

のエレベーターが付き、トイレはすべて洋式となります。山地市教委総務課長は「環